

うちどく
「家読」Q & A



㊤ 仕事が忙しくて家読をする余裕がない！

㊤ そんなに気構えず、気楽にはじめてみましょう。

「家読」に決まりやルールはありません。お子さんと家族で図書館に出かけてみることも立派な「家読」だと思います。前項の**ステップ2**をご参考に、みなさんのご家庭のスタイルに合わせた本の楽しみ方を見つけてみてください。

① はじめは、大人自身が本を楽しむところから！

家庭で身近な大人が読書する姿を見て、子どもも読書や家族が読む本に興味を持つようになります。自分が楽しくないことを子どもに押しつけると、子どもだって楽しむことはできません。「読みなさい」ではなく「一緒に楽しもう」という気持ちで、本のある時間や空間を共有してみましょう。

② 感想を無理に言わせないで

「家読」のたびに子どもに感想を聞くと、模範的な回答探しをしながら本を読んだり、本の世界や読後の余韻を味わったりすることができなくなってしまいます。

感想に正解はありません。楽しみながら読書習慣を身に付けていけるよう、家族の会話の中で、自然に子どもの方から本の話や感想を話してくれるのを待ってみましょう。



参照・「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画(第四次基本計画)」文部科学省

・家読推進プロジェクト公式ホームページ「うちどく.com」

うちどく 福田小
「家読」のすすめ

福田小学校では、毎週月曜朝は読書の時間として、全学年一斉に10分間の読書に取り組み、週末は家庭での読書を推奨し、子どもたちに読書の楽しさや大切さを指導しています。

夏休み中も継続して読書習慣を身に付けていけるよう、「家読」を推進していきたいと思えます。保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いします。



うちどく
「家読」とは？

「家読」は、「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書をする事で家族のコミュニケーションを深める」ことを目的にした読書運動です。

ゲームやインターネット、スマートフォンの普及により、もしかしたら知らず知らずの間に家族の会話が少なくなっているということもあるかもしれません。

「家読」は、読書という方法で家族のコミュニケーションを図り、子どもたちの心豊かで健全な育成を願う取組です。

新地町立福田小学校

うちどく 「家読」の取り組み方

ステップ1 我が家の「家読の日」を決めてみよう！！

まずは少なくとも「週に1回、1回10分」やってみるところから。家族で話し合っ、週末など「週1回家族みんなで読書」できる日や時間帯を決めてみましょう。

ステップ2 家族に合った「家読」スタイルで実践！

「家読」のやり方は様々です。特別なルールはありません。とにかく家族みんなで本を読む時間を共有することが第一歩です。

以下を参考に、ご家庭の個性に合った「家読」スタイルを自由につくりだしてみてください。

- 工作や料理の本を一緒に読み、作ってみる。
- 同じテーブルを囲んで読む。
- 同じ作者の本や同じ本を読む。
(この場合は、短時間で家族全員が読むことができる絵本や児童書がおすすめです。)
- 膝に座らせて読み聞かせをする。
(未就学のお子さんなど年齢に応じて)
- 同じテーブルを囲んで読む。



※ 本校児童は、読んだ本をカードまたはタブレットに記録しておくようにしましょう。

うちどく 「家読」で気をつけたいこと

ポイント1 「家読」の時間はテレビを消して

「家読」の時間だけは「ノーゲーム、ノーメディア」。
少しの時間テレビやスマートフォンから離れて、家族でテーブルを囲み、本を手にとってみましょう。

ポイント2 「目の健康」のために30-20運動

福田小では、目の健康のためタブレット等を使用する際に、「30-20運動」を取り組んでいます。読書をする際にも、
○30cm (目を本から離して)
○20秒 (目を休める…遠くを見る、目を閉じる etc.)
健康的な読書習慣を身に付け、いつまでも続けていけるよう、ご家庭でもぜひ実践を！



うちどく 「家読」による効果は？

- 1 本を読み、互いに話すことにより、家族のコミュニケーションが増えます。
- 2 家族が読書する姿を幼少期から間近で目にすることにより、読書をするのが子どもたちにとって身近なことになります。
- 3 家読は、語彙力とともに想像力を高め、夢を持ち、将来を前向きに考えることのできる子どもを育てる手助けとなります。

